

# 事業実績報告

令和5年度



社会福祉法人  
希耀會



---

🌸 目次

法人概要 ..... 3



事業実績（特別養護老人ホーム） ..... 4  
事業実績（ショートステイ） ..... 5  
重点目標の振返り ..... 5・6・7



事業実績（特別養護老人ホーム） ..... 8  
重点目標の振返り ..... 9・10



事業実績（住宅型有料老人ホーム） ..... 11  
事業実績（グループホーム） ..... 12  
事業実績（小規模多機能ホーム） ..... 13  
事業実績（地域密着型デイサービス） ..... 14  
重点目標の振返り ..... 15



事業実績 ..... 16・17  
重点目標の振返り ..... 18  
事業活動報告 ..... 19・20

## 🌸 法人概要

### 1. 沿革

- 平成 18 年 10 月 社会福祉法人 希耀會 設立認可
- 平成 21 年 3 月 特別養護老人ホーム 花乃路 開設
- 平成 21 年 6 月 ショートステイ花乃路(特別養護老人ホーム花乃路併設) 開設
- 平成 23 年 4 月 花乃路保育園 開設
- 平成 24 年 2 月 特別養護老人ホーム花乃路 「はなれ」開設 20名増床
- 平成 24 年 7 月 特別養護老人ホーム あやめ苑 開設
- 平成 25 年 2 月 デイサービスセンター花乃路(特別養護老人ホーム花乃路併設) 開設
- 平成 27 年 4 月 複合型高齢者施設ベイサイドわかまつ 開設
- 令和 2 年 1 月 デイサービスセンター花乃路 廃止

### 2. 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	定員
社会福祉事業	第一種 社会福祉 事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム花乃路 (管理者：竹井 辰介)	100 名
			特別養護老人ホームあやめ苑 (管理者：山内 勉)	100 名
	第二種 社会福祉 事業	短期入所生活介護	ショートステイ花乃路 (管理者：松尾 慎也)	10 名
		保育所	花乃路保育園 (管理者：永松 貴美恵)	90 名
		小規模多機能型 居宅介護事業	小規模多機能型施設 ベイサイドわかまつ (管理者：石橋 健司)	登録 29 名 通い 15 名 宿泊 5 名
		認知症対応型老人 共同生活援助事業	グループホーム ベイサイドわかまつ (管理者：小田 晃一郎)	18 名
公益事業	有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム ベイサイドわかまつ (管理者：的場 秀人)	15 名	
	老人デイサービス	デイサービスセンター ベイサイドわかまつ (管理者：上野 晃嗣)	10 名	
収益事業	屋根賃貸 (太陽光発電売電)	特別養護老人ホーム花乃路 (管理者：竹井 辰介)	—	



社会福祉法人 希耀會  
特別養護老人ホーム

花乃路

🌸 特別養護老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	16	18	17	16	16	17	
女性	82	79	79	80	80	78	
合計	98	97	96	96	96	95	
稼働率	91.1%	92.1%	91.0%	90.7%	88.6%	91.0%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	18	18	19	18	18	18	17.4
女性	76	76	76	76	78	78	78.4
合計	94	94	94	94	96	96	95.8
稼働率	90.5%	88.7%	88.8%	89.3%	86.3%	90.0%	89.8%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	85.8	86.3	85.1	86.2	85.9	85.8	
女性	88.0	88.0	88.1	88.0	88.0	87.9	
平均年齢	86.9	87.1	86.6	87.1	87.0	86.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	86.4	86.4	87.7	87.3	87.3	87.8	86.5
女性	88.3	88.2	88.4	88.4	88.4	88.3	88.2
平均年齢	87.3	87.3	88.0	87.9	87.9	88.1	87.3

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	1	2	2	2	2	1	
要介護2	9	8	8	7	4	4	
要介護3	34	34	33	32	34	34	
要介護4	38	36	35	37	39	39	
要介護5	16	17	18	18	17	17	
平均介護度	3.60	3.60	3.61	3.64	3.68	3.71	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	1	1	1	1	1	1	1.3
要介護2	4	4	4	4	5	7	5.7
要介護3	35	35	34	35	36	37	34.4
要介護4	39	39	42	41	42	38	38.8
要介護5	15	15	13	13	12	13	15.3
平均介護度	3.67	3.67	3.66	3.65	3.61	3.57	3.64

## 🌸 ショートステイ事業実績

### 1. 要介護者別利用者延数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	71	38	59	77	70	54	
要介護2	54	62	58	31	50	79	
要介護3	48	59	55	32	47	41	
要介護4	27	23	32	28	30	25	
要介護5	1	12	12	12	14	13	
要支援1	3	3	3	3	3	5	
要支援2	0	10	4	5	3	6	
合計	204	207	223	188	217	223	
稼働率	68.0%	66.8%	74.3%	60.6%	70.0%	74.3%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	35	31	18	36	21	29	44.9
要介護2	75	75	69	52	27	12	53.6
要介護3	54	48	40	45	43	45	46.4
要介護4	38	34	29	39	29	46	31.6
要介護5	20	14	15	18	12	30	14.4
要支援1	5	3	3	3	3	3	3.3
要支援2	6	6	5	5	6	9	5.4
合計	223	211	179	198	141	174	199
稼働率	75.2%	70.3%	57.7%	63.9%	48.6%	56.1%	65.4%

## 🌸 重点目標の振り返り

### 1. ケアの質の向上

新型コロナウイルス感染症による様々な制限が徐々に変化していく社会情勢を鑑み、ご利用者の安全を担保しながら日常生活の活性化を図れるように支援いたします。

今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、様々な制限が徐々に緩和していく社会情勢となりました。

令和4年度から引き続き実施していた面会ブースでの対面面会も、中止することなく年度を通じて実施することが出来た。面会時間や回数に制限があり、ご入居者様、ご家族様にご協力いただく面も多々あったが、面会中の散歩を可能にする等緩和に向けた取り組みも実施できた。3月より、居室での面会を開始し、曜日、時間の制限を設けてはいるものの、時間内は居室や外で自由に過ごしていただくことにより、日常生活の活性化に繋がられたと考えられる。

しかしながら、コロナウイルスの脅威が消失したわけではなかったため、ショートステイ利用者が持ち込む形で罹患することもあり、職員も令和5年度で16名程度罹患することとなった。そのような状況においても、入居者様、他の利用者様に罹患することはなく、クラスターを防ぐことが出来たのは、高い予防意識と、過去の経験による迅速な対応によるものであったと思われる。

日常的なサービスをより深化させていくために、運営会議・サービス向上委員会を中心に討議し、取り決めた内容について各職員への周知徹底を行います。

日常的なサービスにおける意見をユニット会議等でサービス向上委員、ユニットリーダーが集約後、サービス向上委員会、運営会議で討議し、決定事項を各職員へ周知できるように再度取

り組みを行ってきた。コロナ禍等の理由で中止していたサービスを、委員会や会議での討議により再開する道筋ができる等、日常サービスの深化に向けた役割を果たすことが出来た。

**御利用者の自律した暮らしを実現するために、職員一人一人が役割と責任を果たし、日常の関りや生活支援を見つめ、各部署が連携し協働できるよう組織体制の強化を行っていきます。**

各部署の連携、組織体制の強化に向けては、看介護連携会議において、各管理者、部署長の意識を統一できるよう、細かな問題も検討し、各部署が連動しながら問題解決への取り組みを行うことが出来た。新型コロナの影響で入居者様への制限が多く、自律支援に向けた動きが、まだまだ少ないため、制限緩和と同時に自律した暮らしの実現に向けた動きを課題としたい。

## 2. 職員の資質向上

**職種、キャリアに添った内・外部研修を積極的にを行います。**

**OFF-JTを活用した新たな研修体系の構築に向けた取組を実施し、各職員の資質向上を目指します。**

令和5年度の外部研修も、引き続きオンラインでの研修が多く見られたが、対面での研修も数を増やしており、両方選べる研修となっている。各職員の経験年数や業務理解度、各個人の課題に対応した形で外部研修を組み込み、積極的に実施してきた。また、最近増えてきている、介護未経験や経験の少ない状態で入職する職員へは、外部研修と施設内での座学研修を行い、資質向上に努める取り組みを実施した。

**危機管理を見直し、決められたことを確実に履行し、無理・無駄・ムラのない組織づくりを目指します。**

コロナ対応において、今までの経験値から、状況に応じた対応を理解することが出来ており、無駄のないスムーズな動きが確立できている。取り決められた感染対応をムラなく実施できており、各部署への周知も滞りなく進めることが出来ている。

**現有職員、新規採用職員の定着が図れるような取り組みを実施し、積極的な求人活動を行うことにより、慢性的な介護職不足の解消に努めます。**

新規採用職員は上長による入職後の定期面談を実施し、現有職員にも定期的な面談を実施することにより、不安、問題の解消に努めてきた。求人活動としては、各種養成機関、地域の学校等への働きかけを実施し、コロナ禍で中止されていた、実地研修の受け入れも実施した。前年度に比べ入職者数は増加したが、退職者数も同程度出ているため、今後も各種機関等への働きかけを拡大して、介護職不足の解消に努めていく。

## 3. 継続的な健全経営を確立

**継続的に収支バランスの取れた健全経営を行うため、稼働率 95%程度を維持できるように入退所調整を行います。また、地域への働き掛けや営業活動を強化し、待機者数の増加に向けた取り組みを行います。**

**経営収支＝顧客満足度という意識を持ち、ご利用者及びご家族への対応を行います。**

---

今年度は、上半期、下半期共に大きなプラス収支となった。要因としては、前年度の後半期から、稼働が徐々に上がったため、前年度に比べて収入が増え、人件費等経費が減少したことにより年間を通して、安定したプラス収支を残すことが出来た。目標であった95%の稼働率は維持できなかったが、大きく減少することなく、少ない人員配置の中でプラス収支を保つことが出来た。また、各種病院・地域への働きかけを強化したことで新規申込者数が比較的安定したことも、入居調整に好影響をもたらし、大幅な稼働率の減少を防いだと考えられる。

次年度も、顧客満足度を意識しながら、安定した収支を継続していけるよう取り組んでいく。

**地域活動について、施設で協力可能なことや、施設から地域に向けた発信ができるような活動等を検討し、コミュニティの活性化を進めます。**

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、地元自治会の活動も様々なことが再開しており、夏祭りを含めた各種お祭り等、地域行事が実施された。感染状況により、中止や規模縮小も見られたが、概ね再開されていたため、積極的に参加、協賛させていただいた。また、令和4年度から協賛している、緊急連絡システムも引き続き実施している。令和6年度も、5年度と同様に地域行事が実施される予定であるため、人間的な協力を拡大する等、積極的な取り組みを検討して行く。

**施設備品、設備等を丁寧に使用し、人的要因での故障がなく長期的に使えるように、清掃、メンテナンスを行います。**

花乃路は開設から14年となり様々な設備で経年劣化が見られているため、令和5年度も故障による買い替えは増えてきた。メンテナンスできるものは早めに修理して、長期的に使用できるように意識付けを行ってきたが、人的要因での故障も散見されているので、次年度も設備、備品の適切な使用に対する意識付けを行っていく。

今後は、大規模な修繕も考えられるので、早めに予定を立てる等、取り組んでいきたい。





社会福祉法人 希耀會  
特別養護老人ホーム

あやめ苑

🌸 特別養護老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	17	17	17	17	18	18	
女性	72	72	74	72	71	72	
合計	89	89	91	89	89	90	
稼働率	83.9%	83.1%	81.5%	84.7%	83.8%	82.6%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	19	20	16	17	17	18	17.6
女性	70	68	69	71	68	67	70.5
合計	89	88	85	88	85	85	88.1
稼働率	79.7%	80.3%	78.4%	79.0%	80.3%	79.4%	81.4%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	85.8	86.3	86.5	86.6	86.7	86.7	
女性	89.8	89.8	89.6	89.4	89.5	89.7	
平均年齢	87.8	88.1	88.1	88.0	88.1	88.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	86.6	86.5	86.9	87.0	86.0	86.2	86.5
女性	89.7	89.6	89.6	89.6	89.8	89.7	89.7
平均年齢	88.2	88.1	88.3	88.3	87.9	88.0	88.1

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	2	2	2	1	1	1	
要介護2	4	4	3	5	5	5	
要介護3	25	25	26	24	22	21	
要介護4	29	27	25	24	24	25	
要介護5	29	32	35	35	37	38	
平均介護度	3.89	3.92	3.97	3.98	4.02	4.04	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	1	1	1	1	1	1	1.3
要介護2	4	5	5	6	6	6	4.8
要介護3	18	17	19	19	20	20	21.3
要介護4	24	23	22	23	24	26	24.7
要介護5	42	42	38	39	34	32	36.1
平均介護度	4.15	4.14	4.07	4.06	3.99	3.96	4.02

## 重点目標の振り返り

### 1. 安全・安心な生活環境の確保

新型コロナウイルス感染症に関する予防対策の継続と、クラスターなど有事発生時について、迅速且つ適切な初動とその後の対応に努め、被害を最短・最小限に抑えるように取り組みます。

5月より新型コロナウイルス感染症の類型が5類へと移行し、各種制限の緩和に社会全体が進む中、要介護高齢者施設として制限緩和の在り方と安全義務をどのように果たすべきなのかを常々考えさせられる年であった。

そのような中、リスクを回避しながらも生活上の様々な制限の緩和を図り、全てが適切とは言えずとも、レクリエーションなど日常の暮らしに潤いを感じられるような取り組みを心掛け実践した。

一方で、残念ながら年度内で2回ほど施設内において入居者の方が罹患し、うち9月に発生したケースではクラスターまで発展はしなかったが、入居者3名・職員1名が発症し、収束するまで20日間を要するなど、感染対応としては以前と何ら変わらず大きな負担を強いられる状況であった。

予防対策としては、年度内2回のワクチン接種と公的に支給された抗原検査キットを効果的に活用し、施設内へのウイルスの流入を許さぬように努めた。更には、職員個人の感染が判明した際には、職員の動線遮断や感染が疑われる対象者の検査を必ず3日間実施するなどの初動対応の徹底を図り、それを繰り返す事で意識の浸透と迅速な対応力を備えることができたと評価をしている。(年度感染者数:入居者4名 職員11名 合計15名) ※令和4年度は合計29名

接遇や身嗜みなど直接的な支援に環境整備を加えた基本的ケアサービスの定期調査を実施し、施設内のサービス水準の維持向上を図りながら、入居者の皆様方に対して、安心・安全な生活環境の提供に努めます。

今年度も年間を通じ、「入居者の身嗜み」「接遇マナー」「環境整備」の3項目について、各部署長を中心とした調査員チームによる「基本的ケアサービス定期調査」を実施。それぞれの内容についてユニット単位で評価を行い、課題の抽出と改善策の実施に努め、サービスの質の向上を図ると共に、ご家族による居室面会の再開など施設として閉鎖的な空間からの脱却に向けた準備の一環と位置付けて取り組んだ。

### 2. 人材育成への取り組み

内外研修について、集合研修やWEB研修(リモート、ストリーミング)など、その時の情勢に応じて適切な形態で参加を行いながら、職員個々の資質向上に努めます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の類型が5類へと移行した事もあり、外部研修については前年度に増して現地での集合形式で開催されるようになったが、事前に参加を予定していても職員にコロナ感染者や感染疑いの事例が発生し、参加予定の職員ではなくても感染予防の観点から派遣を見送るケースが多々見られた。また、内部研修についても同様であり、小規模グループでの研修であっても、コロナやインフルエンザなどの感染症の影響によって、延期や参加人数の縮小などの対応を余儀なくされた。

### 3. 高品質サービスの提供に向けて

部署内、部署間における情報の共有を図り、あらゆる単位でのチームワーク形成に努めながら、高品質サービスの提供実現に注力致します。

今年度も各部署長を中心に構成している多職種連携会議をはじめ、各部署単位で情報共有の機会を多く確保し、その主旨である部署間および職員間における課題の明確化と様々な連携を基に改善策の実施に努め、入居者個人に対する支援内容の充実に向け取り組んだ。

また、職員個別に存在する能力差という課題に対しては、客観的な分析とチーム単位での受容およびフォロー体制の確立までは至っていないため、今後も継続的に取り組んで行く必要がある。

### 4. 健全経営の確立に向けて

サービス品質の向上、顧客満足度の向上、業績の向上、職員満足度の向上、良好な職場環境、などの好循環サイクルの確立に努め、休床ユニット再開を含めた経営基盤の強化を目指します。

過去2年の堅調な収支実績と比較し、主に看取りなどの理由によって下半期における退所者が急増したため、年間を通じて安定した業績を確保するには至らなかった。年度収支としての黒字は何とか維持したものの、業績の向上という重要部分の成果が低迷した事により、好循環サイクルを確立したと言うには不十分という評価である。

しかし、その他の項目に対しては意欲的に取り組み、その一環として福岡県が制度化した「働きやすい介護職場認証制度」への申請を行い、職員処遇・労働環境・長期勤続割合・職員育成体制などの基準項目をクリアし、安心して長期に渡り働ける職場として認定されるなど一定の成果は得られた。次年度以降もこのような積極的な姿勢を持ち続け、経営基盤の安定化を図りながら休床ユニットの再開という重要課題にも具体的に着手できるよう努めていきたい。

### 5. 地域福祉の拠点となるために

昨年から独自で取り組んでいる西十四区住民の方を対象とした緊急時生活支援事業の効果的な運用や、北九州市から依頼を受けている認知症等行方不明者一時保護事業への参画などを通じて、地域貢献活動の更なる充実に取り組みます。

昨年度より西十四区住民の方々を対象に、特別会費という枠組みにおいて「緊急時生活支援活動」を実施。今年度も地域貢献活動の一環として協力させていただいた。生活困窮家庭などに対する支援活動は今年度も該当事例はなかったが、自治会内の環境整備や徐々に再開を果たしている地域行事へと活用させていただいた。今後も地域福祉の拠点としての役割を多少なりとも果たせるように尽力していきたい。

また、年度末の3月下旬より、能登半島地震への福祉支援活動として被災地である輪島市に職員を1名派遣。現地避難所にて直接被災者の方々への支援と交流を図り、大規模災害時の支援体制の在り方について貴重な体験を得ると共に、施設周辺で自然災害が発生した場合の避難対応策の構想と準備にも活用を予定している。



🌸 住宅型有料老人ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	4	4	4	4	4	3	
女性	11	11	11	11	11	11	
合計	15	15	15	15	15	14	
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	3	4	4	4	4	4	3.8
女性	11	11	11	11	11	11	11.0
合計	14	15	15	15	15	15	14.8
稼働率	100%	100%	93%	100%	100%	100%	98.7%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	82.8	82.8	82.8	83.5	83.5	83.5	
女性	87.7	87.7	87.8	88.1	88.1	88.1	
平均年齢	85.1	85.1	85.3	85.3	85.3	85.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	83.5	83.5	83.5	85.3	85.3	85.3	84.1
女性	88.1	89.1	89.1	89.1	89.1	89.1	86.7
平均年齢	85.3	87.2	87.2	87.2	87.2	87.2	86.1

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
自立	1	1	1	1	1	1	
要支援1	0	0	0	0	0	0	
要支援2	0	0	0	0	0	0	
要介護1	7	7	7	7	7	7	
要介護2	6	6	6	6	6	6	
要介護3	1	1	1	1	0	0	
要介護4	0	0	0	0	1	1	
要介護5	0	0	0	0	0	0	
平均介護度	1.47	1.47	1.47	1.47	1.53	1.53	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
自立	1	1	1	1	1	1	1.0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	6	6	6	6	6	6	6.5
要介護2	7	7	7	7	7	7	6.5
要介護3	0	0	0	0	0	0	0.3
要介護4	1	1	1	1	1	1	0.7
要介護5	0	0	0	0	0	0	0
平均介護度	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.54

🌸 グループホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	2	2	2	1	1	0	
女性	16	16	15	15	17	17	
合計	18	18	17	16	18	17	
稼働率	100%	100%	98%	94%	94%	99%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	0	0	0	0	0	0	0.4
女性	17	18	18	18	18	18	16.9
合計	17	18	18	18	18	18	17.3
稼働率	97%	100%	97%	100%	100%	100%	98.3%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	90	90.5	90.5	90.5	90	0	
女性	89.3	89.3	89.5	89.1	88.6	88.8	
平均年齢	89.5	89.5	89.6	89.4	88.8	88.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	90	0	0	0	0	0	90.3
女性	88.8	88.8	87.9	88.1	88.2	88.3	88.8
平均年齢	89.4	88.8	87.9	88.1	88.2	88.3	88.8

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	1	1	1	1	1.1	1	
要介護2	7	7	7	7	6.5	7	
要介護3	7	6.4	6.4	4.7	5.9	5.9	
要介護4	2	2	2	2	2	2	
要介護5	1	1	1	1	0	0	
合計(延数)	540	539	514	487	481	476	
平均介護度	2.72	2.71	2.71	2.68	2.57	2.56	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	1	1	1.9	1.6	1	1.5	1.2
要介護2	7.4	8	6.9	6.9	7	7	2.1
要介護3	6	6.4	5.4	6	6	6	5.9
要介護4	2	2	1.2	1	1	1	1.7
要介護5	0	0	1.6	1.8	2	2	0.9
合計(延数)	509	521	528	536	493	544	6,168
平均介護度	2.55	2.54	2.63	2.69	2.76	2.71	2.65



🌸 小規模多機能型ホーム事業実績

1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	8	7	7	6	6	5	
女性	17	17	19	19	20	20	
合計	25	24	26	25	26	25	
稼働率	86.2%	82.8%	89.7%	86.2%	89.7%	86.2%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	5	6	6	6	7	7	6.3
女性	21	22	21	21	22	22	20.0
合計	26	28	27	27	29	29	26.3
稼働率	89.7%	96.6%	93.1%	93.1%	100%	96.6%	90.8%

2. 平均年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	84.6	86.9	86.8	86.8	87.0	86.4	
女性	83.8	84.1	83.6	83.6	84.2	84.2	
平均年齢	84.1	84.9	84.5	84.3	84.8	84.7	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	86.6	85.3	85.6	85.6	86.0	84.9	86.0
女性	84.3	83.9	83.8	83.8	84.8	85.5	84.1
平均年齢	84.8	84.2	84.2	84.2	84.8	85.5	84.6

3. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要介護1	9	8	8	6	5	5	
要介護2	7	6	7	8	8	7	
要介護3	3	4	5	3	3	3	
要介護4	5	5	5	5	7	7	
要介護5	1	1	1	3	3	3	
合計	25	24	26	25	26	25	
平均介護度	2.3	2.4	2.3	2.7	2.8	2.8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	5	7	7	7	8	7	6.8
要介護2	7	7	7	7	7	5	6.9
要介護3	3	4	4	4	4	4	3.7
要介護4	7	7	6	6	7	8	6.3
要介護5	4	3	3	3	3	4	2.7
合計	26	28	27	27	29	28	26.3
平均介護度	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.9	2.7



## 🌸 地域密着型デイサービス事業実績

### 1. 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
男性	63	56	62	49	46	38	
女性	132	162	164	136	138	169	
合計	195	218	226	185	184	207	
稼働率	78.1%	83.8%	86.9%	71.2%	68.1%	79.6%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男性	50	49	50	45	41	45	49.5
女性	154	154	116	143	160	157	148.6
合計	204	203	166	181	201	202	198.1
稼働率	78.5%	78.1%	63.8%	72.3%	80.4%	77.7%	76.5%

### 2. 要介護別入居者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1	0	0	0	0	0	0	
要支援2	0	0	0	0	0	0	
要介護1	61	67	65	49	52	67	
要介護2	90	108	99	84	88	94	
要介護3	44	43	62	40	44	46	
要介護4	0	0	0	13	0	0	
要介護5	0	0	0	0	0	0	
利用者延数	195	218	226	186	184	207	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	71	70	49	50	63	54	718
要介護2	86	93	79	90	102	98	1,111
要介護3	47	40	38	44	32	39	519
要介護4	0	0	0	0	0	0	13
要介護5	0	0	0	4	4	11	19
利用者延数	204	203	166	188	201	202	2,380

## 🌸 令和5年度重点目標

### 1. 地域に根差した包括的支援を目指します

- ・ 利用者様お一人おひとりのこれまでの生活・歴史を大切に、住み慣れた土地で安心して、穏やかな生活が送れるようサポートします。
- ・ 地域密着型の施設として、地域との関係性を重視し、利用者様が地域社会の一員として参加できる機会を多く持つようにします。(地域の行事等へ積極的に参加します。)
- ・ コロナ禍においても利用者様の生活に「楽しみ」を与えることができるよう工夫し実践します。



## 2. 職員の教育及びサービスの質の向上を目指します

- ・ 「福祉従事者」として、覚悟と責任感を持ち常に「ご利用者様のために」という思いで行動いたします。
- ・ 「福祉」の仕事に、やりがいと誇りを持てるよう、職場環境を整備し、人材育成に取り組む、離職率低下に努めます。
- ・ 良質で安心できるサービスを提供するために、各職員が意識を高く持ち、常に自己啓発に励めるようサポートします。
- ・ 職員のキャリアアップのため、各種研修に積極的に参加出来る環境づくりを整備し、資格取得時には助成制度等も含め、組織全体でバックアップします。
- ・ 決して職員都合の業務(ルーチンワーク)は行いません。

## 3. 安定した経営環境を構築し、地域福祉の向上に努めます。

- ・ より安定した財務基盤、正確な財務管理、会計処理を行います。
- ・ 光熱費、物価等の上昇に伴い、より厳しい経営状況ですが、あらゆる知恵を出し、かつ工夫を凝らしながら経費削減を行い収益の確保に努めます。
- ・ 運営については、組織内の責任と裁量権の範疇を明確にし、コンプライアンスを順守します。
- ・ 地域福祉の拠点として、地域との関わりを密にするとともに、地域高齢者の困りごとを気軽に相談できるような社会資源としての役割を果たします。

## 重点目標の振り返り

昨年 5 月に新型コロナ感染症の位置づけが変わり、社会的には日常化へと向かいつつある年であった。我々高齢者施設においても、いろいろな面で手探り状態ではあるが前進できた一年となった。感染症対策を十分に行ったうえで利用者様と外出したり、地域の各行事に参加したりと久しぶりに以前の活気が戻ってきた。ただ、新型コロナ感染症をはじめ各感染症が完全に収束したわけではないので、引き続き感染症対策には万全の注意を払いたい。

職員の育成については専門的な研修等に積極的に受講できるよう、施設として協力体制を整え専門的知識の習得を図った。特に「認知症研修」においては年 4 回の研修に毎回、各事業所より受講していただき、「認知症ケア」の向上に努めた。

また人材の確保についても、年に3回ほど個人面談を行い、職員の現状や悩みを聞き、改善点があればスピード感を持って改善するなど職員一人ひとりのストレス軽減、ストレスマネジメントに努めた。職員の離職率に関しては6%と目標としていた一桁台であったので、引き続き職員の働きやすい、モチベーションの上がる職場環境作りの構築に努めたい。

運営面では、一昨年 12 月に新型コロナ感染症の施設内感染拡大により、通所事業所(小規模多機能ホーム、デイサービス)のご利用者様が大幅に減少し大きなダメージを受けたが、結局、このダメージが今期の上半期まで響いた。今後も新型コロナ感染症をはじめ、あらゆる感染症対策のリスクはあるが、このことを教訓とし、万が一発生した場合、迅速かつ最小限のダメージに抑える方策を確立し対応していきたいと考える。

引き続き、「地域密着型施設」として、地域の困りごとや高齢者問題の受け皿として、ご近所の方々が気軽に立ち寄れる開かれた施設となるよう職員一丸となり努力したい。





社会福祉法人 希耀會

花乃路保育園

🌸 保育園事業実績

1. 入園児人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	2	4	5	7	9	11	
1歳児	18	18	18	18	18	18	
2歳児	20	20	20	20	20	20	
3歳児	18	18	18	18	18	19(1)	
4歳児	15	15	15	15	15	15	
5歳児	17	17	17	17	16	16	
合計	90	92	93	95	96	99(1)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	13	13	13	16	17	17	127
1歳児	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	20	19	19	19	19	19	235
3歳児	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	223(7)
4歳児	15	15	15	15	15	15	180
5歳児	16	16	16	16	16	16	196
合計	101(1)	100(1)	100(1)	103(1)	104(1)	104(1)	1,177(7)

2. 延長保育人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	0	0	0	0	0	0	
1歳児	2	2	2	3	2	2	
2歳児	0	2	2	2	2	2	
3歳児	7	7	7	7	7	6	
4歳児	1	1	1	1	0	1	
5歳児	8	8	8	8	7	7	
合計	18	20	20	21	18	18	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	1	2	1	4
1歳児	2	2	2	2	3	2	26
2歳児	4	4	3	5	5	5	36
3歳児	7	7	8	8	8	8	87
4歳児	2	2	1	2	2	2	16
5歳児	9	8	7	7	8	7	92
合計	24	23	21	25	28	25	261



### 3. 一時保育人数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0歳児	5	2	2	4	14	11	
1歳児	0	0	0	0	0	0	
2歳児	0	0	0	13	19	11	
3歳児	0	0	0	0	0	0	
4歳児	0	0	0	0	0	0	
5歳児	0	0	0	0	0	0	
合計	5	2	2	17	33	22	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	13	17	9	19	18	14	128
1歳児	0	0	0	0	0	0	0
2歳児	13	0	0	0	0	0	56
3歳児	0	0	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	17	9	19	18	14	184

## 令和5年度重点目標

### 1. 保育の質の向上

- ・保育の計画及び評価に関する事項を踏まえ保育の内容を構成し、養護と教育が一体となって展開することに留意します。
- ・生命の保持と情緒の安定を図り、安心感と信頼感の得られる生活の中で身近な環境への興味が高まるように、子どもの活動を支えます。
- ・子どもが自発的、意欲的に関わられるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切に保育を行います。

### 2. 職員の資質向上

- ・人材の確保と定着につながるよう、保育士等の処遇改善及び働き続けられる職場づくりや保育実習生の受け入れ体制づくりに努めます。
- ・倫理観に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって保育を行うと共に、保護者との信頼関係の構築に努めます。
- ・保育を取り巻く社会状況の変化を踏まえつつ、充実した研修を行うと共にキャリアアップ対象研修の受講をすすめます。

### 3. 危機管理・安全対策

- ・感染症の集団発生予防に努め、感染症に対する正しい知識や情報に基づく感染予防の為の適切かつ迅速な対応に留意します。
- ・育児に関する様々な不安や悩みを聞き相談に応じたり、子育て支援に関する情報提供を行ったり虐待等の早期発見に努めます。
- ・児童福祉施設の設備運営基準等の一部を改正する省令(令和4年11月30日)が公布され、令和5年4月1日より施行されたことを踏まえ、「児童福祉における業務継続計画」を策定し、既に策定している「花乃路保育園マニュアル」をより充実させ、安心・安全な施設になるよう努めます。

---

## 🌸 重点目標の振り返り

「こども家庭庁」が令和5年4月1日から施行され、国は「こどもまんなか社会」の実現に取り組もうとしています。一方、出生数が80万人を下回り少子化の進行が止まらない状況です。「子育て支援」として、令和5年12月より、保育園に通う0・1・2歳児クラス、第2子からの保育料無償化が開始され、今後は地域における子育て支援として「こども誰でも通園制度」や「かかりつけ相談機関」等、その役割を保育園が担うことになります。その様な社会状況を踏まえ、「保育の質の向上」では、花乃路保育園が大切にしている**丁寧な保育**を続け、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを通して保育を展開しました。「職員の資質向上」では、自己評価に基づく課題等を踏まえPDCAサイクルを行い自己の保育を振り返り、園内研修で共通理解を図りました。「危機管理・安全対策」では、地震及び火災による被害を最小限に抑えるため、様々な災害を想定した訓練を行いました。消防署の立ち入り検査において、高い評価を頂きました。今後も、安心・安全で質の高い保育を目指して職員一同精進してまいります。



## 令和5年度 花乃路保育園 事業活動報告

実施月	外部研修	人数	内部研修	人数
4月	子どもの言葉を豊かにする研修	1人	・保育目標及び専門職としての目標 ・人権研修	19人
5月	*●乳児保育研修	1人	・不適切保育について（園長研修） ・人権研修	19人
	実習指導者担当研修	1人		
	*●主任級保育士研修	1人		
	*乳児保育研修	1人		
6月	*幼児教育	1人	・食に関する事例・子どもの育ち ・人権研修	19人
	*●主任級保育士研修	1人		
	全国保育士研修大会（福島）	2人		
	*乳児保育研修	1人		
	若松ひまわり学園勉強会	1人		
	安全管理研修	1人		
7月	地域子育て支援研修会	1人	・監査を終えて（園長研修） ・人権研修	18人
	*●主任級保育士研修	1人		
	第1回給食献立伝達研修会	1人		
	リーダー研修会	1人		
	*保育ゼミナール研修	1人		
8月	若松ひまわり学園勉強会	1人	・子どもの育ちを考える（5歳児） ・人権研修	18人
	*保育ゼミナール研修	1人		
	*●障害児保育研修	1人		
	児童虐待対応研修	1人		
	子育てを考える会	2人		
	九州保育3団体研究大会	1人		
	*障害児保育研修	1人		
9月	*保育ゼミナール研修	1人	・子どもの育ちを考える（4歳児） ・人権研修	17人
	*障害児保育研修	1人		
	カウンセリング研修	1人		
	相談員研修会	1人		
	保育士会研修研究大会	1人		
10月	子どもの言葉を豊かにする研修	1人	・子どもの育ちを考える（1歳児） ・人権研修	18人
	*●幼児教育研修	1人		
11月	公定価格研修会	2人	・絵本研修 ・人権研修	17人
	*幼児教育研修	1人		
	*●保健衛生安全対策研修	1人		
	第2回献立伝達研修会	1人		
	北九州市小児保健研究会	1人		
	領域（健康・人間関係）研修	1人		
	食事に関する研修会	1人		
	北九州市保育研修大会	6人		
施設長特別研修	1人			
12月	保育所園長研修	1人	・子どもの育ちを考える（2歳児） ・人権研修	14人
1月	保育所職員専門研修会	1人	・子どもの育ちを考える（0歳児） ・人権研修	14人
	調理員研修	1人		
	保育所職員総合研修大会	1人		
2月	*●食育アレルギー対応研修	1人	・子どもの育ちを考える（3歳児）	14人
	実習指導者担当者研修	1人		
	保幼小連携研修会	1人		
	保育士研究研修会	1人	・人権研修	14人
	保育セミナー2023	1人		
	子育てを考える会	2人		
	役員・施設長研修	1人		

3月	人権研修	1人	・自己評価 ・人権研修	14人
	遊びが広がる研修	1人		

\* → キャリアアップ研修 ● → オンライン研修

## 年間行事

実施月	行事名	
4月	第13回入園・進級式・芋の苗植え・園児内科健診	<b>【地域行事】</b> ・スプリングコンサート ・水遊び ・わらべうた遊び ・劇団さんぽ観劇会
5月	親子遠足・スプリングコンサート・シルエット劇場(年長児)・「ゴミ0の日」清掃活動	
6月	4・5歳児歯科検診・夏野菜の苗植え・保育参観週間・プラネタリウム見学(年長児)	
7月	プール開き・七夕まつり・おひさまのいえ日帰り保育(年長児)・五平太みなと祭り(年長児)	
8月	夏野菜の収穫・お祭りごっこ・プール納め・新1年生同窓会	
9月	敬老の日(花乃路訪問)・冬野菜の種まき	
10月	園児内科健診・第13回運動会・保護者個人懇談会・秋の幼児五平太ばやし発表会(年長児)・ハロウィンパーティー	
11月	総合避難訓練・芋掘り・焼き芋パーティー・わらべうた	
12月	第13回生活発表会・パイプオルガンコンサート(年長児)・クリスマス会・冬野菜の収穫	
1月	劇団さんぽ観劇会・おひさまのいえ(あそびにこころよ・年長児)	
2月	豆まき・保育参観週間・お買い物体験(年長児)	
3月	ひな祭り会・お別れバイキング・第13回卒園式・修了式	

※ 毎月の活動【誕生会・身体測定・避難訓練・4・5歳児体操教室・食育活動】

- ・特別養護老人ホーム「花乃路」との交流はできませんでしたが、窓越しに手を振るなど、運動会の様子や園庭での遊びの様子をご覧いただいております。
- ・給食試食会を手づくりおやつ試食会「ティータイム」を15:30～18:00に行いました。
- ・行事はコロナ前に戻しつつ、この4年間の気付きもあり、新様式を取り入れています。

## 実習生等受け入れ実績

実習依頼施設	実習期間	参加人数
九州女子短期大学(2年生)	8/16～8/26	1名(保育学科)
東筑紫短期大学(1年生)	2/13～2/24	1名(保育学科)
長崎大学(2年生)	2/19～3/1	1名(教育学部)

・今年度より、対面実習を行いました。

---

—MEMO—